



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年8月3日
東

上場会社名 日産化学株式会社 上場取引所
 コード番号 4021 URL <http://www.nissanchem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 木下 小次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 吉田 洋憲 (TEL) 03-4463-8404
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	50,877	7.3	10,679	6.4	11,902	9.7	8,830	12.0
2018年3月期第1四半期	47,420	5.2	10,040	5.6	10,851	16.0	7,887	15.5

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 7,499百万円(△21.2%) 2018年3月期第1四半期 9,521百万円(94.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	59.25	—
2018年3月期第1四半期	52.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	220,510	173,313	77.8
2018年3月期	246,040	176,364	71.0

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 171,653百万円 2018年3月期 174,586百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	32.00	—	36.00	68.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	38.00	—	40.00	78.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	96,700	6.3	18,400	6.6	18,800	5.4	14,100	7.0	94.79
通期	204,000	5.5	36,800	5.2	38,000	4.9	28,500	5.0	191.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2018年6月8日までの自己株式取得を考慮した結果、1株当たり当期純利益のみ変更しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	150,000,000株	2018年3月期	151,000,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	1,510,948株	2018年3月期	1,534,562株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	149,025,872株	2018年3月期1Q	151,042,450株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

2018年8月3日(金)に、決算説明資料をホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 利益配分に関する基本方針	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2018年4月1日～2018年6月30日）の国内景気は、世界経済が拡大し、堅調な企業収益のもと、設備投資の増加、雇用・所得環境の改善など、緩やかな回復基調が続きました。このような状況のもと、当社グループの事業につきましては、化学品部門は、基礎化学品が横ばい、ファインケミカルが減収となりました。機能性材料部門は、とくに半導体材料が好調でした。農業化学品部門は、動物用医薬品原薬の出荷が伸長しました。医薬品部門は、「リバロ」（高コレステロール血症治療薬）原薬の販売が国内外ともに減少しました。

この結果、当期間における業績は、売上高508億77百万円（前年同期比34億56百万円増）、営業利益106億79百万円（同6億38百万円増）、経常利益119億2百万円（同10億51百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益88億30百万円（同9億42百万円増）となりました。計画比では、売上高は予想通り、営業利益は2億円上ぶれ、経常利益は6億円上ぶれ、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億円上ぶれとなりました。

セグメント別概況は以下のとおりであります。

化学品部門

基礎化学品では、メラミン（合板用接着剤原料等）の販売は増加、高純度硫酸（半導体用洗浄剤）は減少しました。ファインケミカルでは、「テピック」（封止材用等特殊エポキシ）が減収となりました。また、原燃料価格や運賃の上昇がありましたが、価格改定により部門全体の利益は維持されました。

この結果、当部門の売上高は86億96百万円（前年同期比1億40百万円減）、営業利益は15億60百万円（同41百万円増）となりました。計画比では、売上高は5億円、営業利益は1億円の下ぶれとなりました。

機能性材料部門

ディスプレイ材料は、「サンエバー」（液晶表示用材料ポリイミド）のスマートフォンなど中小型向けが好調でした。半導体材料は、需要増を受け、半導体用反射防止コーティング材（ARC[®]）および多層材料（OptiStack[®]）が増収となりました。無機コロイドは、「スノーテックス」（電子材料用研磨剤、各種表面処理剤等）の販売は堅調、オルガノシリカゾル・モノマーゾル（各種コート剤向け、樹脂添加剤）は前年並みでした。オイル&ガス材料（シェールオイル・ガス採掘効率向上材）は増収となりました。

この結果、当部門の売上高は156億35百万円（前年同期比15億35百万円増）、営業利益は39億22百万円（同3億15百万円増）となりました。計画比では、売上高は4億円、営業利益は6億円の上ぶれとなりました。

* ARC[®]およびOptiStack[®]はBrewer Science, Inc. の登録商標です。

農業化学品部門

フルララネル（動物用医薬品原薬）の出荷が拡大、「アルテア」（水稻用除草剤）の国内販売も好調でした。加えて、「パルサー」（殺菌剤）など海外向け農薬が増加しました。一方、「ラウンドアップ」（非選択性茎葉処理除草剤）は前期における出荷前倒しの影響で減収となりました。

この結果、当部門の売上高は163億59百万円（前年同期比17億58百万円増）、営業利益は51億36百万円（同5億92百万円増）となりました。計画比では、売上高は9億円、営業利益は5億円の下ぶれとなりました。

医薬品部門

「リバロ」原薬は国内外ともに減少しましたが、「ファインテック」（医薬品研究開発参加型事業）は順調に推移しました。

この結果、当部門の売上高は18億45百万円（前年同期比3億2百万円減）、営業利益は2億62百万円（同2億83百万円減）となりました。計画比では、売上高は1億円の下ぶれ、営業利益は予想通りとなりました。

卸売部門

当部門の売上高は178億1百万円（前年同期比32億49百万円増）、営業利益は5億62百万円（同1億39百万円増）となりました。計画比では、売上高は2億円の下ぶれ、営業利益は1億円の上ぶれとなりました。

その他の部門

当部門の売上高は46億円（前年同期比7億80百万円減）、営業利益は71百万円（同56百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が減少したことなどにより、前連結会計年度末比255億30百万円減の2,205億10百万円となりました。

負債も短期借入金が減少したことなどから、前連結会計年度末比224億79百万円減の471億96百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末比30億50百万円減の1,733億13百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比6.8ポイント増加し、77.8%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、運転資金の増減などから法人税等の支払額を控除した結果、64億68百万円の収入（前年同期は112億83百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、工場などの設備投資による支出などにより、39億93百万円の支出（前年同期は43億53百万円の支出）となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローでは、借入金の返済、配当金の支払などにより、261億25百万円の支出（前年同期は183億47百万円の支出）となりました。

現金及び現金同等物の四半期末残高は、換算差額54百万円を調整した結果、前連結会計年度末に比較して235億95百万円減少し、141億6百万円（前年同期は242億63百万円）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想は、前回発表（2018年5月11日）の業績予想から変更はありません。

(4) 利益配分に関する基本方針

当社は、中長期的に事業収益を拡大し、財務体質を強化することで企業価値の向上に努め、株主の皆様への積極的な還元を図ってまいります。なお、株主還元につきましては、2016年4月に始動した中期経営計画「Vista2021」において、配当性向を2019年3月期に向けて40%まで段階的に引き上げることに加え、総還元性向70%の維持を目標としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,702	14,106
受取手形及び売掛金	65,422	62,913
商品及び製品	29,855	30,938
仕掛品	115	505
原材料及び貯蔵品	7,797	8,615
その他	4,748	4,665
貸倒引当金	△34	△31
流動資産合計	145,606	121,711
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,411	24,179
その他（純額）	30,062	29,700
有形固定資産合計	54,473	53,879
無形固定資産		
ソフトウェア	775	778
その他	993	911
無形固定資産合計	1,768	1,689
投資その他の資産		
投資有価証券	38,517	37,653
その他	5,766	5,667
貸倒引当金	△92	△92
投資その他の資産合計	44,191	43,229
固定資産合計	100,433	98,798
資産合計	246,040	220,510

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,579	15,190
短期借入金	26,145	10,616
未払法人税等	5,156	2,364
賞与引当金	2,011	630
役員賞与引当金	27	6
その他	10,950	11,613
流動負債合計	62,871	40,420
固定負債		
長期借入金	2,446	2,446
事業構造改善引当金	516	412
関係会社事業損失引当金	309	309
退職給付に係る負債	126	192
その他	3,406	3,415
固定負債合計	6,804	6,775
負債合計	69,675	47,196
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,942	18,942
資本剰余金	13,613	13,613
利益剰余金	133,822	133,077
自己株式	△5,962	△6,767
株主資本合計	160,416	158,865
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,653	12,338
為替換算調整勘定	125	71
退職給付に係る調整累計額	390	377
その他の包括利益累計額合計	14,170	12,788
非支配株主持分	1,778	1,660
純資産合計	176,364	173,313
負債純資産合計	246,040	220,510

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	47,420	50,877
売上原価	26,333	28,296
売上総利益	21,087	22,581
販売費及び一般管理費	11,047	11,901
営業利益	10,040	10,679
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	294	308
持分法による投資利益	288	316
その他	335	706
営業外収益合計	922	1,337
営業外費用		
支払利息	40	36
固定資産処分損	50	53
その他	21	24
営業外費用合計	112	114
経常利益	10,851	11,902
特別利益	-	-
特別損失	-	-
税金等調整前四半期純利益	10,851	11,902
法人税、住民税及び事業税	2,244	2,273
法人税等調整額	643	735
法人税等合計	2,888	3,008
四半期純利益	7,962	8,893
非支配株主に帰属する四半期純利益	74	63
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,887	8,830

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	7,962	8,893
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,815	△1,315
為替換算調整勘定	△242	△66
退職給付に係る調整額	△12	△13
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	1,559	△1,394
四半期包括利益	9,521	7,499
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,473	7,448
非支配株主に係る四半期包括利益	47	50

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,851	11,902
減価償却費	2,203	2,434
受取利息及び受取配当金	△299	△315
支払利息	40	36
固定資産処分損益 (△は益)	50	53
売上債権の増減額 (△は増加)	3,280	2,476
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,118	△2,322
仕入債務の増減額 (△は減少)	△913	△3,346
その他	84	△112
小計	14,179	10,808
利息及び配当金の受取額	359	487
利息の支払額	△23	△25
法人税等の支払額	△3,232	△4,801
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,283	6,468
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△2	△902
投資有価証券の売却による収入	1	396
有形固定資産の取得による支出	△4,268	△2,504
有形固定資産の除却による支出	△48	△43
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	65	△917
その他	△100	△21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,353	△3,993
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△9,054	△15,575
配当金の支払額	△4,249	△5,380
非支配株主への配当金の支払額	△39	△167
自己株式の取得による支出	△5,000	△5,001
その他	△4	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,347	△26,125
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21	54
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△11,438	△23,595
現金及び現金同等物の期首残高	35,701	37,702
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,263	14,106

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年4月24日の取締役会決議に基づき、2018年5月8日付で1,000,000株の自己株式の消却を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、利益剰余金が4,195百万円、自己株式が4,195百万円減少しております。

また、2018年5月11日の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が4,999百万円増加しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

1) 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	6,432	12,509	13,354	2,121	11,134	1,866	47,420	—	47,420
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,404	1,589	1,246	26	3,417	3,514	12,199	△12,199	—
計	8,836	14,099	14,601	2,148	14,552	5,381	59,619	△12,199	47,420
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損 失)	1,518	3,606	4,543	545	422	128	10,765	△725	10,040

(注) 1. セグメント利益の調整額△725百万円には、セグメント間取引消去△95百万円、各報告セグメントに配分して
いない全社費用△629百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費で
あります。

2) 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	6,235	13,900	14,972	1,845	11,982	1,940	50,877	—	50,877
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,460	1,734	1,386	—	5,819	2,660	14,062	△14,062	—
計	8,696	15,635	16,359	1,845	17,801	4,600	64,940	△14,062	50,877
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損 失)	1,560	3,922	5,136	262	562	71	11,514	△835	10,679

(注) 1. セグメント利益の調整額△835百万円には、セグメント間取引消去△81百万円、各報告セグメントに配分して
いない全社費用△754百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費で
あります。